

ASEAN Institute for Disaster Health Management (AIDHM) の開所式・学術会議・運営委員会に参加しました (2023/10/17-20)

テーマ：One ASEAN One Response にむけたレジリエントな災害医療のための知識の共創
会場：メリア・プルサニホテル、ガジヤマダ大学医学・公衆衛生学・看護学部（ジョグジャカルタ・インドネシア）

2023年10月17日～19日にインドネシアのジョグジャカルタで開催された第2回ASEAN学術会議と、前後して開催されたAIDHM（ASEAN災害健康危機管理事務所）の開所式、ならびにASEANアカデミックネットワークの運営委員会に、災害医学研究部門の江川新一教授（災害医療国際協力学分野）がアドバイザーとして参加しました。

ARCHプロジェクトは、日本政府とタイ政府の2国間協定にもとづいてASEAN各国の災害保健医療管理を標準化するための能力開発としてJICAの支援のもと始められたものです。現在は第2期に入っており、災害医療教育のカリキュラムの樹立とともに、災害医療に関する学術的なネットワークの形成、その中心となるASEAN Institute for Disaster Health Management (AIDHM) の設立、そして、学術集会、学術雑誌の刊行などが目的になっています。

災害医療は、起こった出来事に対して対処するだけではなく、災害が人びとの健康に危害をもたらす要因をなるべく減らし、人びとの平時からの健康を維持することが大変重要だという概念のもと、さまざまな研究を行っていきます。ASEANが「One ASEAN One Response」とスローガンを掲げて推進するARCHプロジェクトには、WHO、あるいは世界災害医学会（WADEM）からも強い支持が得られています。



文責：江川新一（災害レジリエンス共創センター、災害医療国際協力学分野）